

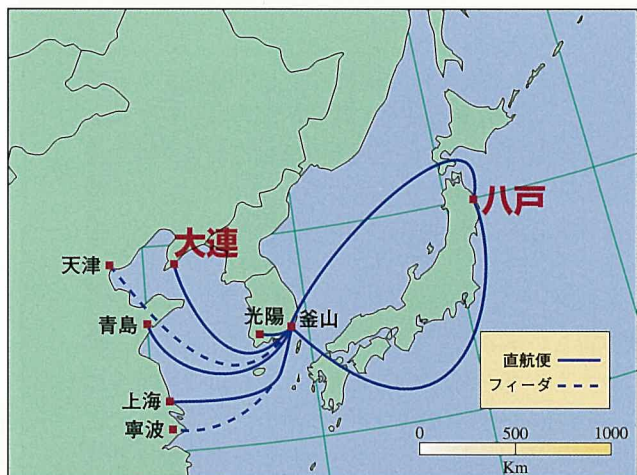
Port of Hachinohe

No. **16**
Jul 2005

---Maritime & Trade Report---

●今号の主な記事

- 中国・韓国航路、大連へ直接寄港
- 八戸セミナー2005
- バンコクの日本食レストラン
- 八戸市海外経済協力員レポート
- 2004年八戸港コンテナ貨物取扱量
- 青森県輸入住宅促進協議会ニュースレター



中国・韓国航路

大連への直接寄港開始！

中国東北部へのコンテナ輸送サービスが充実

八戸港の中国・韓国航路を運航する南星海運(株)では、2005年5月から中国の大連への直接寄港サービスを開始しました(月曜日出航便)。これにより、大連～八戸間は釜山での積み替えなしに、輸出で6日、輸入で8日での輸送が可能となりました。

大連市と青森県は、昨年12月に「友好経済交流協定」を結んでいます。今年5月には「青森県大連ビジネスサポートセンター」が開設され、中国国内での事業展開を目指す企業のサポート体制も整備されています。

大連への直接寄港サービスの開始が、大連市と青森県との経済交流の一助となり、同航路の更なる貨物取扱量の増加につながるものと期待されます。

2004年 八戸港コンテナ取扱数量(中国・韓国航路)
単位：TEU

貿易相手港	コンテナ取扱数量
1 釜山 (韓国)	1,379
2 天津 (中国)	1,170
3 上海 (中国)	901
4 青島 (中国)	775
5 大連 (中国)	660
6 バンクーバー (カナダ)	646
7 ハンブルグ (ドイツ)	479
8 バンコク (タイ)	253
9 ロッテルダム (オランダ)	241
10 ハリファクス (カナダ)	178

お問い合わせ先
南星海運(株)代理店 八戸港湾運送(株)
コンテナ事業部 コンテナ営業課
〒031-8608 八戸市河原木字海岸16-4
TEL.0178-29-3177 FAX.0178-29-3119

中国・韓国航路 寄港地	
月曜日便 (毎週)	釜山～新潟～苫小牧～八戸～函館～ 釜山～光陽～大連～青島～釜山
水曜日便 (毎週)	釜山～新潟～苫小牧～八戸～仙台～小名浜～ 常陸那珂～釜山～蔚山～上海～釜山

八戸セミナー2005開催

八戸港国際物流拠点化推進協議会では、去る6月2日、八戸市及び八戸市企業誘致促進協議会との共催で、「八戸セミナー2005～進化する環境・エネルギー都市 はちのへ～」をパレスホテル（東京都千代田区丸の内）で開催し、400名を超える企業の皆様にご参加をいただきました。



挨拶する三村青森県知事



八戸市を紹介する中村八戸市長

まず、三村青森県知事から、八戸市に対する県経済のけん引役としての期待など、激励のご挨拶をいただきました。

続いて、中村八戸市長が環境・リサイクル・新エネルギーに対する市の取組み状況や、企業誘致の方向性、北インター工業団地等について紹介し、八戸市を実際に見ていただく企画として「八戸産業ツアー」への参加を呼びかけました。

その後、県の担当者が、今年は八戸港のコンテナ取扱量



超満員のセミナー会場

八戸セミナー2005 環境・エネルギー都市



講師：大平洋金属代表取締役社長
村井浩介氏



講師：東京大学大学院教授
湯原哲夫氏

が20,000TEUを超える勢いで伸びていることや、八戸港のコンテナ航路・補助金制度等の貿易支援体制を紹介し、更なる利用拡大を呼びかけました。

また、大平洋金属代表取締役社長の村井浩介氏と東京大学大学院教授の湯原哲夫氏から、それぞれご講演をいただきました。

村井氏からは、「北東北の物流拠点として発展する八戸港」と題して、素材型産業として輸移出入を八戸港に依存する同社が、国際物流港をもつ八戸市の臨海部に立地したことにより大きなメリットを受けてきたことや、近年取組んでいる異業種との連携による環境事業についてのお話をいただきました。

湯原氏からは、「エネルギー自給率50%イニシアチブと地域産業の新しいあり方」と題して、現在のエネルギー問題や将来のエネルギー需給や環境問題、八戸市の環境やエネルギーに対する取組みなどについてお話をいただきました。

限られた時間でしたが、八戸市は十分な産業基盤が整った地域であることを知っていただき、八戸港の利用及び八戸市での企業立地や事業提携を検討している企業の皆様の、参考にさせていただけたものと思います。

セミナー後の情報交換会には、船社、港湾関係者、製造業者、新エネルギー・リサイクル関連業者など、様々な業種の皆様に参加され、活発な意見交換が行われました。



情報交換会で挨拶する八戸港振興協会
会長 浦山昭二氏

八戸港国際物流拠点化推進協議会 平成17年度定例総会開催

八戸港国際物流拠点化推進協議会では、去る4月27日、平成17年度定例総会を八戸パークホテルで開催し、本年度の事業計画等を決定しました。

設立10周年の節目を迎える今年度も、海外ポートセールス（タイ・シンガポール）、国内ポートセールス（東京、弘前）、各種補助金制度の実施、地場製品の輸出拡大等に取り組み、八戸港の利用拡大を目指して積極的に活動して参ります。



協議会会長の挨拶

南アフリカ・南米東岸とのサービス開始

八戸港の東南アジア航路を運航するパシフィック・インターナショナル・ラインズ（PIL）は、2005年7月からアジアと南アフリカ・南米東岸を結ぶコンテナ航路を開設します。

これまで、南米との輸出入は、京浜港など主要港を利用する必要がありましたが、八戸港でのコンテナ積み下ろしによる直接輸出入が可能となります。八戸港との接続は、

東南アジア航路によりシンガポールでの積み替えとなります。

また、海上運賃も主要港発着分とほぼ同額に抑えられ、陸送費分のコスト低減が図られます。

今回の航路拡充を機に、八戸港と南アフリカ・南米との新たな物流が期待されます。

八戸～〈東南アジア航路〉～シンガポール～ダーバン（南ア）～サントス（ブラジル）～ブエノスアイレス（アルゼンチン）～モンテビデオ（ウルグアイ）～サンフランシスコドスル（ブラジル）～パラナグア（ブラジル）～サントス（ブラジル）～リオデジャネイロ（ブラジル）～ケープタウン（南ア）～ポートエリザベス（南ア）～シンガポール～〈東南アジア航路〉～八戸

お問い合わせ先

PIL集荷代理店 八戸運通株

海運部 海運営業所

〒039-1161

八戸市河原木字海岸36-11

TEL.0178-29-0202

FAX.0178-20-3281

地元商社「オーストラリアン・インポート・アワード」受賞

八戸市の貿易商社（株）ファーストインターナショナルが、これまでのオーストラリアとの貿易実績を認められ、「オーストラリアン・インポート・アワード」を受賞しました。この賞は、仙台オーストラリア領事館が、同国からの輸入で顕著な功績があった東北・新潟地区の企業を表彰するものです。第1回目である昨年は、同社と福島県の2社の計3社が選ばれました。

2005年3月25日、吉田ゼネラルマネージャーと営業部の米澤氏が八戸市助役のもとを訪れ、受賞報告をしました。同社では99年からオーストラリアとの貿易実績があり、加工用のタマネギ、ニンジンなどをタスマニア島から、ガーデニング用の枕木、レンガなどを本土から輸入しており、その

際、八戸港を利用させていただいております。この受賞をきっかけに、オーストラリアと八戸との交流が一層盛んになり、八戸港の利用促進につながることを期待されます。



受賞トロフィー



左：受賞を報告する吉田ゼネラルマネージャー
右：八戸市 大河原助役

補助金制度のお知らせ

八戸港国際物流拠点化推進協議会では、八戸港の利用促進のため、次の補助金制度を実施しています。

●コンテナ輸送トライアル補助金制度

この制度は、新規に八戸港の外貿コンテナ定期航路を利用する場合、船荷証券（B/L）1件につき5万円を補助するものです。

補助金対象者は、国内に1年以上事業所を有し、平成14年4月1日以降八戸港の外貿コンテナ定期航路を利用されたことのない企業様（若しくは個人経営者様）で、1荷主につき3回まで利用できます。

●青果物等貿易促進補助金制度（くん蒸補助金制度）

この制度は、植物検疫対象品目のコンテナ貨物で、検疫の結果くん蒸が必要となった場合、「八戸港くん蒸上屋」1室1回の利用につき5万円を補助するものです。

これまでにタマネギ、リンゴ、原木等の輸入の際に利用されています。

両補助金とも予算の範囲内での補助となりますので、件数に限りがございます。お早めにお申し込みください。

お問い合わせ先

八戸市経済部産業政策課内

八戸港国際物流拠点化推進協議会事務局

TEL.0178-43-2111（内線308、609）

八戸港の貿易概況報告 (2005年1月～4月)

039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階

日本貿易振興機構 (JETRO) 八戸情報デスク TEL:0178-72-1850 FAX:0178-72-1503

<概況>

輸出額においては、鉄鋼製品が不調であったが、電気機器・紙製品等の好調により増加(前年度比135.6%)。主な仕向国としては、台湾・韓国・中国などが挙げられる。輸入額においては、ウッドパルプ・大豆粕が不調であったが、亜鉛鉱・石炭等の好調により増加(前年度比124.7%)。主な仕出国としては、アメリカ・インド・オーストラリアなどが挙げられる。また、コンテナ貨物通関本数は、東南アジア航路・北米航路を中心に輸出・輸入合計で121.2%と伸びている。

■平成17年1月～4月の貿易額 (単位:千円)

※資料:八戸税関支署発表の貿易統計から抜粋

輸 出

品名	単位	今年累計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
船 舶	NO	4	3,521,500	200.0%	97.0%
フェロニッケル	MT	41,780	11,402,562	114.5%	115.4%
有機化学品	KG	657,800	186,564	104.2%	109.0%
紙 製 品	MT	3,331	510,696	213.8%	313.7%
一般機械	MT	1,006	278,169	83.6%	103.1%
鉄鋼製品	MT	3,567	346,987	16.8%	43.9%
飼 料	MT	2,975	152,796	131.8%	143.4%
魚 介 類	MT	2,156	326,004	100.9%	137.0%
亜鉛塊	MT	0	0		
電気機器			9,527,724		228.9%
その他	—		998,054		147.2%
合 計	—		27,251,056		135.6%

●コンテナ貨物通関額 ()内は前年対比

輸 出	176億6849万 (170.4%)
輸 入	142億3190万 (114.8%)

●コンテナ貨物通関本数 ()内は対前年比

輸 出	2,889TEU (129.0%)
輸 入	4,782TEU (116.9%)
合 計	7,671TEU (121.2%)

輸 入

品名	単位	今年累計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
ウッドチップ	MT	312,299	4,944,578	111.7%	113.9%
とうもろこし	MT	289,868	4,660,416	99.2%	92.2%
ニッケル鉱	MT	980,538	6,753,863	101.3%	116.6%
木 材	CM	42,580	1,057,702	107.7%	113.3%
亜鉛鉱	MT	51,835	2,101,366	170.5%	223.2%
大豆粕	MT	61,692	1,792,071	81.7%	67.2%
魚介類	MT	3,650	1,783,510	139.5%	145.8%
飼 料	MT	15,516	437,472	79.9%	95.7%
石 炭	MT	251,167	1,841,279	94.3%	154.2%
こうりゃん	MT	67,573	1,109,796	102.0%	99.2%
ウッドパルプ	MT	4,992	268,948	60.9%	59.2%
カオリン	MT	40,378	775,425	112.4%	118.6%
肥 料	MT	4,504	101,824	79.8%	94.0%
重油等	KL	150	7,854	2.0%	3.8%
コークス等	MT	35,081	903,444	120.5%	162.6%
鉛 鉱	MT	0	0		
金属製品	MT	1,016	480,010	91.8%	144.2%
その他穀物	MT	3,506	61,151	60.8%	63.8%
糖 蜜	MT	0	0		
一般機器	MT	631	285,181	45.6%	111.8%
その他	—		17,052,818		157.5%
合 計	—		46,418,708		124.7%

バンコクの 日本食レストランチェーン

日本貿易振興機構 (JETRO)

青森貿易情報センター

TEL 017-734-2575

FAX 017-773-2877

〒030-0802 青森市本町1-2-15 青森本町第一生命ビル5階

バンコクでは1980年代後半から日本企業の進出ラッシュが続き、日本人が急増しました。バンコク日本人会の登録数は70年2千人、85年3千人だったのが、92年6千人、98年には1万人に達し、その後は現在まで横ばい状態が続いています。80年代後半から日本食レストランも軒並み開店しましたが、主な顧客は日本人でした。

その後、タイ人の収入アップに伴い、90年代後半にはオアシスレストラン、フジレストラン、ZENなどの日本食レストランチェーンが開店し、タイ人の若いビジネスマンやOL、若いカップル、家族連れに浸透して、日本人向けレストランからタイ人大衆向けレストランへと進化を見せています。

日本食レストランのチェーン展開に当たっては、安価で良質な食材の確保とともに職人の確保が重要とのこと。

ここで、フジレストランのシステムを紹介します。現在、直営36店舗で各店に80人ほどの従業員が働いており、日本人職員は1名もいません。そのため、従業員教育には重点を置いており、日本人スタッフやタイ人の優秀なスタッフが中心になってきめ細かな講習を継続実施し、職人を育て多店舗化を実現しています。

フジレストランはすし部門、厨房部門、鉄板焼部門の3つのグループに分かれていますが、一番人気のメニューは210パー

ツ(約560円)の弁当定食で、中身はご飯、巻物、刺身、アスパラ・かにかまフライ、卵焼き、サーモン照り焼き、鳥照り焼き、茶碗蒸、味噌汁、デザートと豪華です。

フジレストランのコンセプトはいつもの食事よりちょっとお金を出せば、日本食とその雰囲気を楽しむというもの。お店はガラス張りで見やすく清潔、おしゃれな雰囲気です。お客の8～9割がタイ人ということであり、ある支店の平均客単価は200～250バーツ(530円～660円)。タイ人に人気のある理由としては以下のようなことがあげられます。

- ① タイ人の食事とベーシックな部分で似ている。(主食はコメで魚を食べ、麺類も好き)
- ② その上で、タイにない新しい料理の要素を提供したこと。(焼き魚、寿司、刺身)
- ③ 健康志向が高まり、日本食は健康によいというイメージが浸透していること。
- ④ 日本人が欧米に憧れを感じるように、タイ人は日本に憧れを感じていること。
- ⑤ 店づくりがガラス張りで見やすく清潔で、入りやすい店になっていること。

以上、ジェトロ海外輸出事例調査より一部抜粋。

フランクフルト・メッセ・アンビエンテ2006 日本ブース出品のご案内



日本貿易振興機構（ジェトロ）では、中小企業の輸出支援事業として、インテリア・ギフト関連の欧州での代表見本市であるドイツの「フランクフルト・メッセ・アンビエンテ2006」に参加し、日本ブースを構成いたします。

ジェトロの日本ブースは、国からの補助により、単独での参加に比べてコストが割安となります。また、主催者や輸送業者とのやり取りはジェトロが行いますので、海外見本市に初めて出品する方も安心です。

この機会にぜひ海外見本市への参加をご検討ください。

【見本市概要】

会 期：2006年2月10日（金）～2月14日（火）
 会 場：ドイツ・フランクフルト国際見本市会場
 主催者：フランクフルト国際見本市会社
 特 徴：世界で2番目に大きい展示会場（東京ビッグサイトの4倍）で開催される、来場者数、出品者数共に世界最大の消費財見本市。欧州のみならず、全世界からバイヤーが来場。主催者の審査あり。

【対象出品物】

ホームテキスタイル、オブジェ、家具、ギフト用品、テーブルウェア、キッチンウェア、インテリア用品等

【申込期限】

2005年8月12日（金）
 出品ご希望の方は、お早めに下記までお問合せください。

お問い合わせ先

日本貿易振興機構（ジェトロ）展示事業部 海外見本市課
 担当：石原、竹尾
 〒107-6006 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル
 私書箱528号
 TEL 03-3582-5183 FAX 03-3505-0450
 E-mail FAB@jetro.go.jp

八戸港コンテナ共同輸送事業について（お知らせ） ～八戸港CSS (Container Support Service) 事業～

株式会社八戸港貿易センターでは、海外取引をされる荷主の皆様に対するコンテナ輸送サービスとして、コンテナ1本に満たない小口貨物の共同輸送を実施しております。2005年度も北米便で以下の内容にて実施いたします。

◆◆◆2005年度の実施計画◆◆◆

当社の共同輸送は、利用者の皆様にとって、ご利用しやすい料金設定となっております。月1便のスケジュールで、1荷主でもお申込がある場合には実施いたしますので、皆様のご利用をお待ちいたしております。

◎料金

A 倉庫渡し料金

体 積	金 額
1m ³ ～ 5m ³ 未満	20,000円/m ³
5m ³ ～10m ³ 未満	18,000円/m ³
10m ³ 以上	15,000円/m ³

※体積の小数点以下第3位を四捨五入致します。
 ※料金に含まれるもの：海上運賃、海上保険料、国内通関料、入出庫保管料、ショートドレイ料
 ※料金に含まれないもの：海外集荷場所までの配達料、通関後の国内配達料、税関検査料

B 現地作業料=@5,000円/m³（体積の小数点以下は、切り上げ致します。例：1.2m³→2m³）

料金の合計=A 倉庫渡し料金 + B 現地作業料

◆◆◆共同輸送事業に関する情報・ご案内◆◆◆

共同輸送に関するスケジュールや貿易関連の最新情報を、FAXまたはE-mailでご案内いたしておりますので、ご希望の方は下記までご連絡ください。

また、今年度からは北米便の他、中国便での共同輸送の実施も検討しております。皆様のご意見を参考とさせていただきたいと思っておりますので関心をお持ちの荷主様は、お気軽にご連絡願います。

お問い合わせ先

株式会社八戸港貿易センター TEL.0178-72-1505 FAX.0178-72-1503 E-mail:mail@hptc.co.jp

平成17年度 青森県産農林水産物等の海外輸出促進事業

青森県では昨年に引き続き「攻めの農林水産業」をスローガンに、特に近年経済成長の著しいアジア諸国へ県産農林水産物の輸出を促進するため、関係団体と連携し、下記の事業を実施します。今後とも、各種情報の収集、ビジネスチャンスの創設等に努めて参りますので、ふるってご参加下さい。

期 間	分 類	項 目	開催地
7月 8日～17日	物産展	「東北味の夏祭りin明治屋シンガポール」	シンガポール
8月22日～26日（予定）	商談会	「シンガポール等日系百貨店バイヤー招聘商談会」	青森、札幌
9月23日～10月 2日（予定）	物産展	「青森ジャパンフェアinソウル」	ソウル
10月 3日～ 7日（予定）	商談会	「青森ジャパンフェアinバンコク」向け商談会	青森
10月24日～28日（予定）	商談会	「上海バイヤー招聘商談会」	青森
11月17日～28日（予定）	物産展	「青森の物産と日本のうまいもの・伝統工芸展」	台湾、高雄
11月21日～22日（予定）	商談会	「青森県産ブランド商談会」	台湾、高雄、台北
1月10日～14日（予定）	商談会 PR	「青森ブランド商談会in上海」	上海
		「青森りんご東アジア市場輸出プロモーション事業」	上海
1月中旬～2月上旬	物産展	「青森ジャパンフェアin香港」	香港
1月中旬～2月上旬	物産展	「青森ジャパンフェアin台北」	台湾、台北
1月中旬～2月上旬	物産展	「青森ジャパンフェアinバンコク」	タイ、バンコク
1月中旬～2月上旬	物産展	「北海道&みちのくフェアin伊勢丹シンガポール」	シンガポール
1月中旬～2月上旬	物産展	「2006年北海道・東北三県の観光物産展（仮称）」	台湾、高雄
3月中旬	商談会	「台湾バイヤー招聘商談会」	青森



青森ジャパンフェアの様子



上海商談会の様子

お問い合わせ先

青森県庁農林水産部 総合販売戦略課
消費宣伝グループ

TEL,017-734-9607 FAX,017-773-2691

「八戸地域洋上風力発電事業化調査」まとまる

八戸市では、地域の特性を活かした産業振興として平成15年度より八戸地域洋上風力発電研究会（会長 松坂知行 八戸工業大学教授）と連携して、洋上風力発電の導入可能性の研究を進めてきました。

平成15年度に行われた「洋上風力発電導入可能性調査」においては、八戸港周辺地域は風況等の条件もよく、洋上風力発電は、十分可能であるとの結果が得られました。

これを踏まえて、平成16年度は「洋上風力発電事業化調査」を実施し、この度、調査報告書が完成しました。

調査は、市の委託を受けた（社）海洋産業研究会が実施したもので、八戸地域洋上風力発電研究会において調査した、洋上（中央防波堤）、陸上（ポートアイランド）の風況調査を基に、事業主体の違いによる建設費や発電コストなど具体的な事項を数パターンにわたり比較し、事業化を想定したケーススタディを実施しております。

また、洋上風力で発電された電力の利用方法については、「環境・エネルギー産業創造特区」を活用して、臨海部の工場群や水産加工の冷凍庫群への電力供給、港湾施設のライトアップへの利用のほか「八戸市民エネルギー会社構想」

との連携、さらには水素エネルギーへの転換など様々な形態への展開が期待されております。

二年間にわたる調査研究により、事業採算性について検証がなされ、八戸地域における洋上風力発電事業のあり方について方向性が示されたことから、次のステップとして事業化に向けた具体的な行動が求められております。

今後、市では推進方策や事業主体のあり方などについて検討するとともに、八戸地域の優位性、特色を内外にアピ



八戸地域洋上風力発電研究会
第6回研究会(H17.3.14八戸港貿易センター)

ールし、事業者の掘り起こしに努め、実現に向けて取り組んで参ります。

お問い合わせ先

八戸市建設部港湾河川課 TEL.0178-43-2111（内線338）

「大連・旅順経済視察レポート」

八戸市産業政策課 主任主査 田中瑞穂

去る5月20日から25日までの日程で、第2回「青森・大連友好の翼（大連・旅順経済視察コース）」に参加し、中国の大連、旅順及び大連開発区・保税區において、諸行事への参加と経済関連施設の視察を行いました。



大連市の街並

大連市は中国東北3省のうち最も南の遼寧省にあり、遼東半島先端部南側に位置しています。総人口は約580万人の大都市であり、市内には、日露戦争の戦跡の残る旅順口区や、近年めざましい発展を遂げている、国家レベル経済技術開発区及び保税區があります。

また、大連市街に隣接する大連港のほか、開発区・保税區の周囲には大連新港があり、石油・石炭・飼料・水産物・石油化学の埠頭と国内/国際コンテナバースの6種類の埠頭を持つ中国有数の港湾都市でもあります。

滞在中、青森県大連ビジネスサポートセンター開所式、アカシア祭開幕式、青森県・大連理工大学技術交流協定調印式、大連経済開発区委員会、大連保税區委員会訪問、大連市水産研究所、大連新港、金山水産有限公司の視察等を行い、青森県と大連市の経済連携を強めるとともに、各種経済施策等について研修をしてきました。

大連保税區委員会及び大連新港についてご紹介します。

大連保税區／輸出加工区管理委員会は両区の行政管理機構であります。大連保税區は中国東北部唯一の保税區であり、特別な優遇政策をもつ総合的経済区域です。

区域面積は約2平方キロ。区域内には各種物流センター、商品展示センター、標準規格工場、オフィスビル及び科学技術開発ビル等があります。

保税区内は、中国国内にありながら、関税制度上は国外であるという特性を持ち、免税と保税制度が実施されています。

区域内においては、国際貿易、輸入産品展示、倉庫貯蔵、物流、配分センター、配送センター、生産、加工、仕分けを行う事ができ、国外の企業でも、保税區において外商独資、中外合弁及び内資企業の設立が可能です。

現在、保税區に登録している企業は2,500社。香港、アメリカ、日本、韓国他から900社が立地し、そのうち日系企業は約200社。

大連輸出加工区は2000年4月に指定された中国国内15の輸出加工区の一つ。

加工区の開発面積は8km²（予定）で、第一期工事3km²の施設建設は既に完了。既に、日本、アメリカ、韓国、台湾、香港等の投資プロジェクトも着工されています。

大連新港（開発区／保税區隣接港）は、中国東北部開発と環渤海湾経済圏及び黄海の玄関口を兼ねています。

2003年末、大連北良港にアジア最大の食糧専用埠頭と専用鉄道施設が完成。

2004年の大連港の年間コンテナ取扱量は前年比32%増の220万TEUで、年間貨物取扱量は1.01億トンに上ります。

新港は30万トン級原油埠頭、25万トン級鉍石埠頭が完成しているほか、2010年までに300億元を投じコンテナ用バース第2・3期工事を完成させ、3期工事区域の隣接地に自動車物流埠頭の建設にも着工することを計画しています。

加えて、第4・5期工事も計画されており、完成すれば、湾対岸までが全てコンテナバースとなる予定。2010年までに港湾経営の国際化、物流サービスの充実化、デジタル管理化を実現する方針で、年間の貨物積み下ろし能力を2億トンまで、コンテナ取り扱い能力を800万TEUまで拡大する予定と伺ってきました。



保税區貨倉庫



大連新港の様子

八戸市海外経済協力員レポート

八戸市は、2005年7月現在、海外在住（香港、シンガポール、ワシントンD.C、タコマ、マニラ、天津）の6名に「八戸市海外経済協力員」を委嘱し、現地の出来事や経済状況をレポートしていただいております。

また、八戸地域の企業等が協力員の在住都市を訪問する際には、協力員に現地事情の説明等をしていただけることになっておりますので、ご希望の方は八戸市経済部産業政策課（TEL0178-43-2111 内線308）までご連絡ください。

REPORT

タコマレポート



タコマ・ピアスカウンティ商業会議所
(米国ワシントン州) マネージャー
ゲーリー・ブラケット さん



タコマ港の積み出しの様子

ワシントン州はアメリカ全体と比べても長引いた不況から確実に回復しています。州の失業率は1月5.5%に改善し（通常年末年始の休日の買い物シーズンには失業率は増えるのですが）、この4年間で最も低い失業率です。

産業においても、製造業は長期雇用のない部門ですが、州全体で6300件の雇用を創出しました。ピュージェットサウンド南の産業用地は不動産会社であるシュラー地所の今までのレポートよりも空きがなくなってきました。レポートによれば2004年末の空き率は2.8%でここ数十年で最低です。

全体としては、ワシントン州の2004年の輸出額は、前年比1.1%減の338億ドルでした。原因としては、州の輸出の半数以上を占める航空機と航空宇宙機部品が前年比で14.2%減少したことにあります。日本は州にとって最大の輸出相手国ですが、総輸出額で16.3%増の63億ドルとなりました。カナダも州にとって2番目の輸出相手国ですが、トップ10市場のうち5つが日本、中国、台湾、韓国、シンガポールといったアジア諸国です。

タコマ港は2004年取扱貨物の総トン数、コンテナ取扱量、インターモーダルリフトで新記録を更新しました。以下のとおりです。

総トン数：1,880万ショートトン（1ショートトン≒907.185キログラム）

コンテナ貨物数：180万TEU（20Ft換算）

鉄道貨物取扱数：490,000本

穀物取扱量：670万ショートトン

ブレイクバルク貨物（バラ積み貨物）：117,000ショートトン

自動車取扱数：157,200台

総貿易額：290億ドル

アラスカ市場はタコマ港の積み出しのおよそ30%を占めています。最近の上院（議会）では、アラスカにある北極圏野生保護区のコースタルプレーンの石油探索開発が承認され、予算案においてもこの市場の将来性を裏付けています。1996年の調査では、北極圏野生生物保護区の開発はワシントン州において8,000件の短・長期雇用を創出するとしています。

最近2004年のタコマピアス郡商業会議所とグレーターシアトル商業会議所の調査では、ピュージェットサウンド地区とアラスカの経済相互関係を実証しています。「Ties That Bind」調査（両地域の経済的な強い結びつきについての調査・研究）については<http://www.tacomachamber.org>をご覧ください。この地区では37億7千万ドルの貨物をアラスカに出しているということです。こうした両州の関係は46,000件の雇用を創出しています。



タコマ港全景

見通しでは、タコマ港の積み出しは2005年に17%増、2006年に19%増となるということです。既に2005年第一四半期で31%達成しています。1998年から2004年にかけてタコマ港のコンテナ貨物は、新規航路開設はないものの52%増でした。タコマ港を利用した日本とのコンテナ貿易は1999年の14,187TEUから2004年の226,105TEUに増加しました。

最近の「マリンダイジェスト アンド カーゴビジネスニュース」の読者調査では、タコマ港を生産性、信頼性、費用効果において合衆国トップの港であると評価しています。地方沿岸労働者組合（北米西岸港湾労働者組合#23）ではこの3月に550人の補充を行なうと通知しましたが、3ヶ月で234人の労働者を確保しました。（25%は組合の基準に合いませんでした）

タコマ港はかつてない2億1千万ドルをかけた最大の拡張プロジェクトを終えたところで、ピアス郡はエバーグリーンのターミナルを171エーカー（1エーカー≒4,046.86平方メートル≒約1,224坪）拡張しました。将来に向けて、マースクの用地とホライズンラインのターミナルについての話し合いが進められています。（アラスカ向け）また、現代（ヒュンダイ）もエバーグリーン同様拡張の余地があります。

タコマ港のフレデリクソン産業地帯は、産業開発のため1960年後半に約500エーカーの用地を取得したのですが、今日ではピュージェットサウンド地区最大の産業地帯で、重工業地帯として、公共施設や他のインフラも受け入れることができます。また、最近ピアス郡にも45エーカーの土地が売れ、売上金はこの地域の道路整備にあてられます。

他に、タコマ港はフレデリクソン産業地帯に175エーカー利用できる用地があります。ノースウェストドア社も土地を購入し、現在190人を雇用していますが、新工場では300人の常勤雇用となりそうです。また、APGウェストは、アトランタに本拠地をおくオールドカースル建築グループの一部門で、28エーカー区画に1,000万ドルをかけてコンクリート材の工場を建設し60人を雇用する予定です。

この経済成長は住宅市場にも反映されています。住宅販売とその価格は2004年高値を更新しました。ピアスカウンティ郡の住宅の中央値は2004年末210,000ドルで、前年比およそ16%増です。ワシントン不動産研究センターの住宅取得能力指標によると116.9でした。指標が100であれば、一般家庭で中央値の住宅を購入できる収入があることを意味し、一方100以下であれば住宅購入が困難であるということを示します。ピアス郡のコンドミニアムの値段は1軒あたり169,990ドルで、前年比5%増です。



タコマ市内のコンドミニアム

住宅需要はワシントン州の州兵第81部隊がイラクから戻り、ロスアンゼルスフォートポーク基地からフォートルイス基地に3,900人の兵士が移ったことに伴い続くものとされています。他に小規模の再編成により更に部隊が加わるものとされています。

地元では、現在国防総省で進められている基地の統廃合（BRAC）の成り行きを見守っていますが、基地は軍事的に価値があり、別の基地の閉鎖で孤立した団や部隊をも呼び込めるかもしれないと期待しています。



タコマ市内の建設中のコンドミニアム

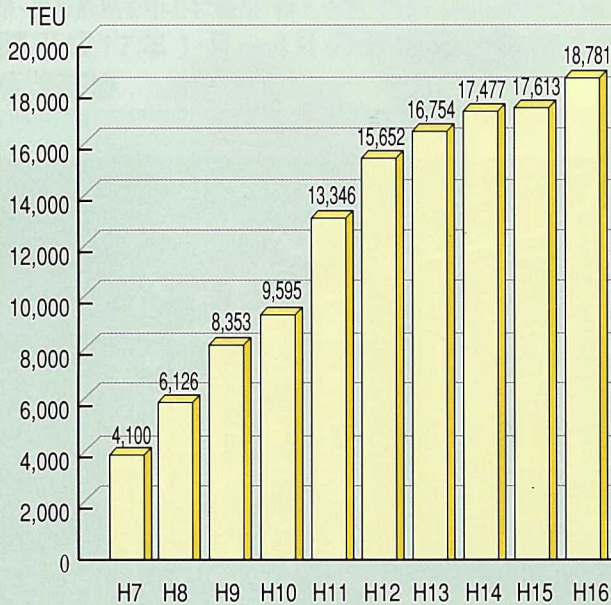
2004年八戸港コンテナ貨物取扱量

八戸港のコンテナ取扱量は年々順調に増加しており、2004年は対前年比約7%増の18,781TEUを記録しました。

特に中国の目覚ましい経済成長を反映し、中国・韓国航路の伸びが顕著となっています。

主な取扱品目は、輸入ではタピオカ澱粉、製材、日用雑貨、輸出ではフェロニッケル、いか肝粉、スパッタリング装置となっています。また、中古エンジンや古紙などのリサイクル関連製品の輸出も増えてきています。

コンテナ貨物取扱量の推移

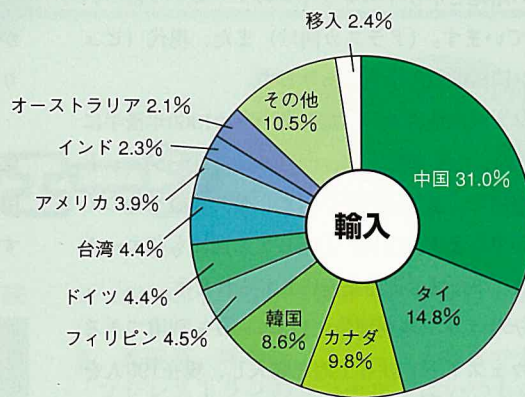
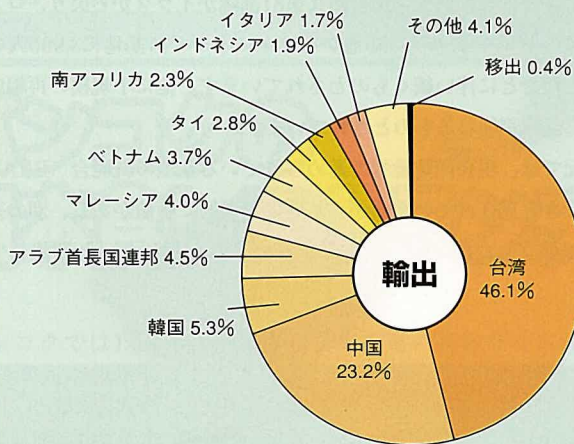


2004年の八戸港コンテナ取扱数量

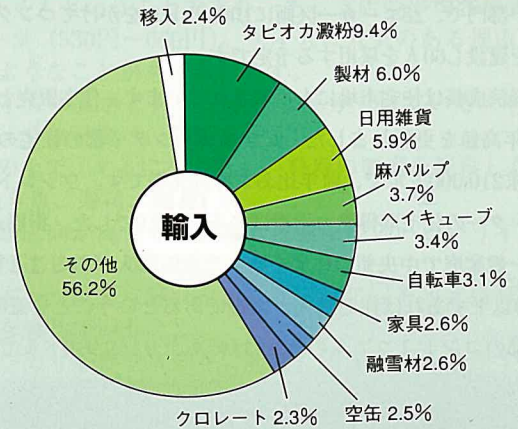
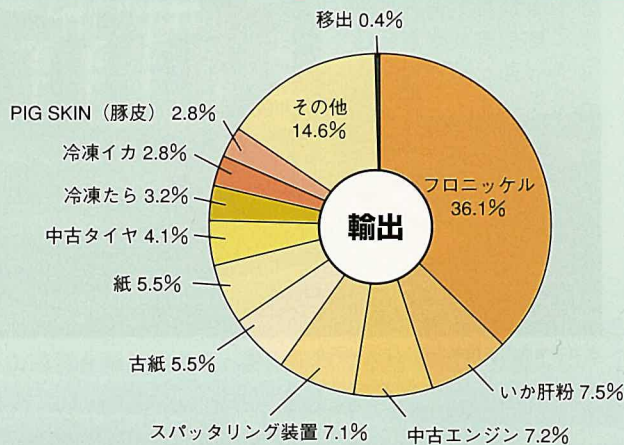
単位：TEU

航路名		東南アジア	中国・韓国	北米	内航 フィーダー	総計
輸移出	取扱量	5,488	1,441	157	27	7,113
	前年比	99.7%	127.6%	1570.0%	180.0%	106.8%
輸移入	取扱量	3,639	7,131	623	275	11,668
	前年比	105.1%	109.7%	98.9%	76.4%	106.5%
総計	取扱量	9,127	8,572	780	302	18,781
	前年比	101.8%	112.4%	121.9%	80.5%	106.6%

国別コンテナ取扱数量



品目別コンテナ取扱数量





アメリカ住宅建材セミナー

去る4月11日(月)、八戸港貿易センターにおいて、アメリカ住宅建材セミナーが開催されました。

このセミナーは、米国ワシントン州政府の通商経済開発局が主催したもので、4月11日の八戸会場を皮切りに、盛岡、仙台、郡山、宇都宮の全5会場で開催されました。八戸では、青森県輸入住宅促進協議会(AIRA)が共催し、建築業の方を中心に40名ほどの参加者がありました。

セミナーでは、ワシントン州を中心とした全米から建

材やサービスを日本企業に提供している企業が米国市場の動向や工法などについて講演を行いました。また、会場内には展示ブースが設けられ、部材サンプルを展示するほか、施工のデモンストレーションも行われ、参加者は興味をもったブースで個別の商談を進めるなど、盛況のうちに終了しました。

今回のセミナーを通じて、具体的な取引も進んでおり、今後も同様のセミナー開催を求める声が聞かれました。



セミナー受講の様子



個別商談の様子

住宅の品質確保の促進に関する法律

人生でいちばん大きな買い物といわれるマイホーム。せっかく実現したマイホームに重大な欠陥があったら…住まいに関するそんなトラブルを未然に防ぎ、万一の場合にも消費者保護の立場からトラブルを速やかに処理できるよう制定されたのが「住宅の品質確保の促進等に関する法律」です。

この法律のポイントは全部で3つあります。

- ① 10年間の住宅瑕疵担保責任義務付け
新築住宅の基本構造部分の不具合に対し、工事請負業者が10年間無償で修理や賠償の責任を負うものです。
- ② 住宅性能表示制度(任意)
その住宅の性能を統一基準で評価し、住宅を選ぶ際の目安にするものです。
- ③ 紛争処理体制の整備
②の性能評価住宅に適用されるもので、住宅をめぐるトラブルの解決について、信頼のおける第三者が低廉で速やかに、調停など裁判外の紛争処理を行う制度です。

AIRA会員募集

AIRAでは輸入住宅を取扱っている、または今後取扱を希望している、住宅・建材関連企業の方々を募集しています。AIRA会員には以下のような特典があります。

- 1. ジェトロ推薦講師によるセミナーへの参加。
- 2. 貿易センターの施設が優待料金にて使用できる。
- 3. 各種貿易相談を受けられる。
- 4. 輸入住宅および部材についての情報が受けられる。
- 5. 輸入住宅海外視察ミッション等への参加(自己負担あり)ができる。

AIRA:青森県輸入住宅促進協議会 事務局

〒039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 (株)八戸港貿易センター内
Tel: 0178-72-1505 Fax: 0178-72-1503
<http://www.aira.ne.jp>

カタログ・資料をご希望の方はAIRA事務局へ。送料とも無料でお送りします。

AIRA会員

会社名	連絡先住所	電話
丸喜株式会社斎藤組	青森市中央二丁目1-17	017-777-3329
株式会社ピアス	八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター4階	0178-72-1513
株式会社黄金工務店	青森市造道二丁目10-17	017-741-8451
株式会社ファーストインターナショナル	八戸市廿三日町2 YSビル3階	0178-71-2282
南部木材株式会社	八戸市吹上ー丁目1-13	0178-45-4331

Aomori Import Residence Association

会社名	連絡先住所	電話
株式会社角弘	青森市新町2-5-1	017-723-2222
株式会社鎌田建設工業	青森市浜館一丁目18-10	017-741-2063
グッドワークトレーディング有限公司	八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター2F	0178-72-1560
株式会社テオー小笠原	青森市東造道三丁目6-3	017-736-2000
有限会社アメリカスタンダードホーム	八戸市青葉三丁目2-25	0178-44-1011

Aomori Import Residence Association

<住所は全て青森県内です>

	コンテナ航路	船社名等	集荷代理店	寄港間隔	主な寄港地
外航	東南アジア航路	PIL	八戸通運	1便/週	[寄港地] 台湾(基隆、高雄)、中国(香港)、韓国(釜山、光陽)、シンガポール [接続地] 東南アジア全域、豪州、欧州、南米、他
	中国・韓国航路	南星海運(株)	八戸港湾運送	2便/週	[寄港地] 韓国(釜山、光陽、蔚山)、中国(上海、青島、大連) [接続地] 中国、欧州、北米、南米、豪州、他
	北米航路	WSL	八戸港湾運送	1便/月	[寄港地] アメリカ(シアトル)、カナダ(バンクーバー)
内航	内航フィーダー航路	(株)横浜コンテナライン	八戸通運	1便/週	[寄港地] 横浜 [接続地] 世界各地

PIL: Pacific International Lines (Singapore) WSL: Westwood Shipping Lines (U.S.A)

主な寄港地～八戸港の所要日数(最短)

寄港地	所要日数(日)	
	輸出	輸入
釜山(韓国)	4	4
光陽(韓国)	5	10
蔚山(韓国)	5	8
基隆(台湾)	5	6
高雄(台湾)	7	7
香港(中国)	8	9
大連(中国)	6	8
青島(中国)	7	7
上海(中国)	7	7
天津(中国)	9	8
寧波(中国)	8	8
蛇口(中国)	11	13
シンガポール	13	15
ジャカルタ(インドネシア)	17	22
バンコク(タイ)	17	20
レムチャパン(タイ)	17	17
マニラ(フィリピン)	20	21
ホーチミン(ベトナム)	20	20
ロングビーチ(米国西岸)	16	18
シアトル(米国西岸)	21	13
チャールストン(米国東岸)	30	23
ニューヨーク(米国東岸)	29	22
バンクーバー(カナダ)	23	13
ブリスベン(オーストラリア)	25	17
オークランド(ニュージーランド)	25	26
サウサンプトン(イギリス)	29	35
ルアーブル(フランス)	30	35
ブレーメルハーフェン(ドイツ)	32	35
ロッテルダム(オランダ)	33	30



貿易Q&A

(株)八戸港貿易センターは、世界に開かれたみなと八戸港と私達に深く係わる貿易をもっとよく知っていただくために様々な活動を行っております。ここでは貿易に関する基本的なQ&Aをご紹介します。

Q 海外との輸送方法にはどのような種類があるの？

A 取引する物品の輸送手段として、少量ならば国際宅配便や国際郵便小包を利用できます。いずれも相手国によっては利用できない場合がありますので、確認が必要ですが、自宅まで届くという利点があります。

ビジネスとしての貨物輸送としては、船便と航空便があります。

船便は、時間はかかりますが航空便に比べると運賃が格安になります。

航空便の特徴は速さですが、運賃は貨物の重量計算と容積計算の大きい方で算出されます。軽量な高額品や生き物、緊急品などの輸送に適していると言えるでしょう。

現在は船便、航空便を問わずコンテナ輸送が一般的となり、海上・航空・陸上を組み合わせることで目的地まで搬入する複合一貫輸送が可能となりました。小口であれば混載コンテナが利用できますし、商品によっては冷凍・クールコンテナなどを使うこともできます。

編集後記

30年以上前の八戸港の空撮写真を見る機会がありました。ずいぶん今の八戸港とは違うので驚いてしまいました。小学生の頃に、市街地の空撮写真で自分の家や学校を探して遊んだことを思い出します。あの頃は港の様子など気にもしていませんでしたが、今こうして見てみると港も役割の変化に応じて形が変わっていくのがよくわかります。

日本の国土面積は、埋め立てによって一年間に東京ドーム254個分増えているそうです。八戸港にも埋め立てでできた人工島、ポートアイランドがあります。今のポートアイランドは、東京ドーム7個分の広さです。第二期工事が終了すれば、さらに東京ドーム10個分増えることになります。

海上コンテナ輸送の御用命は「八戸港国際物流拠点化推進協議会」加盟の各社へ

- 八戸通運株式会社(海運営業所) TEL:0178-29-0202 FAX:0178-20-3281
 - 八戸港湾運送株式会社 TEL:0178-29-3177 FAX:0178-29-3119
 - 新丸港運株式会社 TEL:0178-20-2321 FAX:0178-20-2353
 - 八戸運輸倉庫株式会社 TEL:0178-28-2401 FAX:0178-28-6976
 - 三八五流通株式会社 TEL:0178-52-7755 FAX:0178-52-7751
 - 日本通運株式会社八戸支店 TEL:0178-27-3311 FAX:0178-27-5520
 - ナラサキスタックス株式会社八戸支店 TEL:0178-20-1651 FAX:0178-20-2444
- 青森県・八戸市・八戸商工会議所・八戸港振興協会
株式会社青森銀行・株式会社みちのく銀行・八戸信用金庫



八戸港国際物流拠点化推進協議会 Hachinohe Port Promotion Commission

〒031-8686青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市経済部産業政策課内
TEL:0178-43-2111(代表) e-mail: hppc@hi-net.ne.jp Homepage: www.hi-net.ne.jp/hppc



(株)八戸港貿易センター Hachinohe Port Trade Center Co., Ltd.

〒039-1162青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階
TEL:0178-72-1505 FAX:0178-72-1503 e-mail: mail@hptc.co.jp Homepage: www.hptc.co.jp